

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (中国)	◎	衣料品専門店 (代表)	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着いているため、人が徐々に家から出始めている。外出や外食の自粛を解いた会社も多く、来客数も元に戻りつつある。
	◎	高級レストラン (事業戦略担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況も落ち着き、消費は徐々に拡大してきている。
	◎	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・宴会利用が元に戻っていないため、金曜日の21時以降の来客数は低迷しているが、アルコール提供の時間規制の解除に伴い、ディナータイムの早い時間帯での家族や仲間など少人数の飲み会利用が目に見えて増加している。
	◎	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、人出が多くなっている。
	◎	観光型ホテル (副支配人)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少や県の観光誘致促進事業の補助金もあり、宿泊の予約が増加している。また、宴会利用も例年並みに回復してきている。
	◎	都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の大幅な減少に伴い、平日に関東や関西からのビジネス客の宿泊が増加し、稼働率が90%を超えている。また、週末には家族連れの旅行者も増加している。レストランは個人客を中心にほぼ新型コロナウイルス流行前の状況に戻りつつあり、週末は予約満席の状況が続いている。
	◎	タクシー運転手	来客数の動き	・県外からの観光客が増加し、観光地へのタクシー利用も出てきている。
	◎	タクシー運転手	お客様の様子	・夜の動きは良くないが、県外からのビジネス客や旅行者がかなり増加しており、売上も良くなっている。
	◎	住宅販売会社 (営業担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にあるため、物件の問合せ等も一定数あり、来客数も増加している。
	○	商店街（理事）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が少しずつ落ち着いてきて、景気がやや良くなっている。
	○	商店街（代表者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたため、来客数が増加し、客単価も上昇している。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・業種にもよるが、新型コロナウイルスの影響が少し薄れ、景気は回復傾向にある。
	○	一般小売店 [茶]（経営者）	来客数の動き	・国内は観光客を含め、人が動き出している。売上も少しずつ増加しているが、今までの前年比マイナスをカバーできるかは分からない。ここに来て、アジア各国のロックダウンが原因で、輸出が悪化している。
	○	一般小売店 [印章]（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が少なくなり、プレミアム付商品券の効果もあって、景気は少し上向きになっている。
	○	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・全国的に新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、来客数が増加している。特に週末はファミリー層を中心ににぎわいがある。中旬以降は気温も下がり、重衣料などに動きが出ている。
	○	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、来客数が前年並みまで回復してきている。
	○	百貨店（売場担当）	お客様の様子	・売上が婦人服を中心に拡大しつつあり、前年を大幅に上回り、前々年の実績に迫っている。トラベル用品も好調で、人の動きが活発化しつつある。
	○	百貨店（営業企画担当）	単価の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少に伴い、婦人衣料の動きが良くなっている。依然として、化粧品は苦戦しているが、宝飾品は高額商品に動きが出ている。食品については、土産関係の売上が新型コロナウイルス流行以前の水準に回復してきている。
	○	百貨店（外商担当）	お客様の様子	・県内の新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に減少したため、来客数が増加し、客の購買意欲も高まっている。

○	スーパー（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、週末を中心に、外出や行楽が増えており、購買も進んでいる。また、外出帰りに立ち寄る客が増加し、夕方以降の来客数が伸長している。気温の低下で衣料品の売行きが好調に推移し、高単価商品の動きも良く、客単価の上昇につながっている。
○	スーパー（販売担当）	お客様の様子	・来客数が前年比99%、売上が前年比93%と、売上は依然として厳しい状況にあるが、来客数は戻りつつある。買上点数や購入単価からも客の消費行動に回復の兆しがみられる。
○	コンビニ（支店長）	来客数の動き	・観光地を中心に週末の人の動きに変化があり、来客数が増加している。
○	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・販売量は増加しているが、半導体不足の影響で、車の生産が遅れているため、売上につながるのはまだ先になる。
○	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、景気は少し良くなっている。
○	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・冬季商品が売れ始め、3か月前や前年と比べると良くなっているが、依然として前々年よりはかなり悪い。
○	その他専門店 〔和菓子〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、観光客が増加している。
○	その他専門店 〔土産物〕（経営者）	販売量の動き	・県の観光振興策で、地域共通クーポンを持った県内の旅行者の買物が増えている。宿泊の場合、1人が2000円のクーポンを持っているため、いつもより多くの商品が売れている。
○	その他小売 〔ショッピングセンター〕（支配人）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が全国的に落ち着いてきており、自粛ムードが徐々に緩和しているため、景気はやや良くなっている。
○	その他小売 〔ショッピングセンター〕（管理担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、土日の来客数が少しずつ増加、客の購買意欲も高まっている。ただ、売上は依然として伸び悩んでおり、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少していても、まだまだ安心はできない。また、Go Toキャンペーンなどで売上が伸びていた前年と比べると、状況が良くなっているとは言い難い。
○	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・客の新型コロナウイルスに対する不安がなくなっているようで、利用時も明るく、活気が少し戻りつつある。
○	一般レストラン（店長）	来客数の動き	・酒の提供の制限が解除されて以降、ここ1年ほど自粛していた客の来店もあり、来客数は増加傾向にある。観光客も新型コロナウイルス流行前ほどではないが増加傾向にある。
○	バー（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、景気はやや良くなっている。
○	観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・県内在住者限定の県民割の予約が増加している。また、団体旅行も少しずつ増加している。
○	都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・駅周辺やショッピングモールの人出がかなり増えてきている。
○	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・今月は全国的に新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、定例の神社の神事が重なったことで、県外客が大幅に増加している。また、県や市の自治体支援策の効果もあり、景気は新型コロナウイルス流行前の状況に近づいている。
○	旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスの新規感染者数も増加する気配がないため、個人旅行の受注が増加、団体も振替や延期していた修学旅行が動き始めており、少しずつではあるが、需要が回復している。
○	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が激減し、行動規制等が緩和され、人々の動きが活発になり、街がにぎわっている。

○	タクシー運転手	お客様の様子	・夜の街もグループ客が目につくようになり、景気が格段に良くなっている。
○	タクシー運転手	来客数の動き	・夜の繁華街はまだ足踏み状態であるが、緊急事態宣言が解除され、全体的に景気が元に戻りつつある。
○	放送通信サービス（総務経理担当）	お客様の様子	・延滞数や延滞金額が平常時と同様の状況となっている。
○	通信会社（企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、消費者の動きが戻りつつあり、通信では5Gやその端末に関する関心が高くなっている。これまで客が消費を抑えていた分、その反動の消費が少し出ている。
○	通信会社（工事担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、客の動きが活発になってきている。
○	テーマパーク（業務担当）	来客数の動き	・来客数が増加し、前年の水準に戻りつつある。
□	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しているが、景気に変化はない。
□	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	販売量の動き	・前年と比べ、売上が減少しており、依然として買い控えが続いている。
□	一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきているが、売上にはつながっていない。
□	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・物産展の開催やお歳暮ギフトセンターの早めのスタートで、食品は前年を上回る見込みだが、他の部門は余り変わらない状況である。
□	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少している状況で、高額商品に動きはあるが、婦人服の売上は回復していない。
□	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・100万円を超える高級時計が3本売れている。
□	スーパー（店長）	販売量の動き	・前年と比べ、販売量が減少している。
□	スーパー（店長）	販売量の動き	・客単価に変化がない。
□	スーパー（店長）	来客数の動き	・ここ半年間、来客数が前年をやや下回っているが、販売量が若干増加しているため、売上は前年並みである。
□	スーパー（店長）	お客様の様子	・客が必要な物以外は買わない傾向が強くなり、1人当たりの買上点数が増加しないため、売上が変わらない。
□	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・値上がりした商品もあるが、客単価は落ちていない。
□	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・来客数は回復しているが、売上が回復しない。
□	コンビニ（副地域ブロック長）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、来客数が増加している。
□	家電量販店（店長）	お客様の様子	・生活必需品はすぐに購入してもらえらるが、趣味やし好に関する商品は今一つである。
□	家電量販店（店長）	販売量の動き	・来客数は回復傾向にあるが、高額商品の需要が伸びず、3か月前と比べても売上が改善していない。
□	家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・依然として、景気は良くなっていない。
□	乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・平日だけでなく、土日の来客数も減少している。
□	乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されたが、来客数は前年と変わらない。新車の納期の長期化で、中古車相場も高騰していて、販売も厳しくなっている。
□	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・11月の販売量は前年比90%で、大変厳しい状況である。
□	住関連専門店（営業担当）	お客様の様子	・来客数が変わらない。
□	その他専門店〔布地〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、人出が多少増えているが、客の買物に対する姿勢はまだまだ慎重で、地方の経済が活性化するにはもう少し時間が掛かる。

□	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・海外から帰国後、ホテルに滞在するなどの措置がある以上、旅行も思いどおりにならないため、景気も良くなっていない。
□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言解除後、人流が増え、消費に力強さが見受けられるが、物価の高騰で、日常的消費、特に月額利用のサービスを見直す傾向が出ている。
□	通信会社（経理担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にあるが、まだまだ様子をうかがっている客が多く、余り変化がない。
□	テーマパーク（管理担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスに対する政府の対応が悪いため、景気は変わらない。
□	ゴルフ場（営業担当）	お客様の様子	・予約状況は徐々に良くなっているが、県外客はまだ少ない。
□	競艇場（企画営業担当）	販売量の動き	・売上がほぼ横ばいとなっている。
□	美容室（経営者）	お客様の様子	・人出は徐々に増えているが、来客数や売上の増加にはつながっていない。
□	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・来客数は徐々に増加しているが、契約に結び付いていない。
□	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスや住宅ローン減税の見直しの影響で、引き合いが更に減少している。
▲	商店街（代表者）	単価の動き	・前月は新型コロナウイルス禍の低迷から少し脱した感じであったが、今月に入り、再び厳しくなっている。
▲	一般小売店〔食品〕（経営者）	来客数の動き	・不必要なものは買わない消費者が増加し、新型コロナウイルス禍の巣籠り需要を含む売上に陰りが出ている。
▲	スーパー（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきて、外食が増加してきている影響もあり、スーパーでの食品購入点数が減少している。
▲	スーパー（業務開発担当）	来客数の動き	・食品の相次ぐ値上げで、客の購買意欲が減退している状況で、競合他社と客の奪い合いとなっており、厳しい状況である。
▲	スーパー（財務担当）	来客数の動き	・食料品の値上がりや新型コロナウイルスの新規感染者数の減少による外食機会の増加で、来客数が前年を下回り、売上も減少している。
▲	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・客単価が少しずつ低下している。
▲	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・原材料や燃料費の高騰に伴い、1月から価格改定するので、販売量が減少する。
▲	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・新型コロナウイルス禍で、客が着物を着て外出する機会がかなり少なくなっている。
▲	家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数が減少している。
▲	家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・来客数が前年の6割程度となっており、売上也減少している。
▲	その他専門店〔時計〕（経営者）	販売量の動き	・売上が9月から前年比微減で推移している。
▲	設計事務所（経営者）	販売量の動き	・最近、新築に関する問合せが少ない一方で、古い建物のリフォームやリノベーションに少し動きが出ているが、売上は伸びていない。
▲	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・住宅ローン減税を始めとした税制優遇措置を利用するための契約期限が終わり、客が一息ついている。
▲	住宅販売会社（営業所長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、年末年始に向けて、これまで自粛していた旅行や帰省等は活発になるが、住宅関係への支出の優先順位は低下している。
×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・競合店の出店の影響が8月でなくなり、9月に入り、売上が回復していたが、9月の終わりから店の前の道路上で下水道と下水道の工事が始まり、車の通行量が減少したため、来客数がかなり落ち込んでいる。
×	通信会社（広報担当）	お客様の様子	・客の買い控え傾向が続いている。

	×	美容室（経営者）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、髪を切り、外出する人が増加しているが、客の節約志向が定着し、料金の安いクイックメニューを利用する客が多いため、景気は悪くなっている。
企業動向関連	◎	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車メーカーの景気がかなり回復してきたことに伴い、忙しくなっている。
(中国)	◎	輸送業（総務・人事担当）	受注量や販売量の動き	・海外向けの受注数量に回復の兆しがみられる。
	◎	通信業（営業企画担当）	取引先の様子	・データセンター、ICT関連の引き合いや見学が明らかに増加し、需要が高まっていることに加え、取引先の動きも活発化している。
	○	農林水産業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、緊急事態宣言も解除されたため、少しずつ料理屋に客足が戻ってきており、受注にも回復の兆しがみられる。
	○	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・季節商材の動きが徐々に良くなっている。また、ギフト商戦も出足が好調で、予約が増加している。
	○	化学工業（総務担当）	取引先の様子	・原油高の影響はあるものの、それに伴う営業活動も活発となり、経済が動き出した実感がある。
	○	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・鉄鋼業向け大口案件の納期対応で時間外労働が非常に多くなっている。また、生産も鉄鋼業関係の需要の影響で増加している。
	○	非鉄金属製造業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・金属価格が高値で推移し、電池材料素材関係の販売も旺盛である。
	○	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・半導体不足や東南アジアからの部品の調達の停滞が落ち着いたため、客からの受注は最悪期を脱している。
	○	金融業（融資企画担当）	取引先の様子	・地元完成車メーカーの国内生産は、半導体不足により10月まで通常時から3～4割の減産となっていたが、11月に入り増産体制に戻ってきている。このため、系列の地元部品メーカーの受注も11月はピーク時の8～9割程度まで回復している。
	○	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少に伴い、受注が少し上向きとなっている。
	□	繊維工業（財務担当）	取引先の様子	・衣料の店頭販売は不振であるが、ネット販売は順調である。原油価格の高騰の影響で、先行きは不透明である。
	□	木材木製品製造業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・原油高も含め、仕入れコストが上昇しており、販売価格の値上げを進めているが、思うように価格に転嫁できない状況にあるため、景気は横ばい状態が続いている。
	□	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注は相変わらず堅調に推移しているが、自動車部品関係の一部に陰りが出てきている。
	□	鉄鋼業（総務担当）	取引先の様子	・鉄鋼業界における足元の荷動きは横ばいである。
	□	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・過去3か月、受注量に大きな変化はなく、定時能力並みで推移している。
	□	一般機械器具製造業（管理担当）	取引先の様子	・素材価格の高騰等の影響が大きく、景気は良くなっていない。
	□	電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・5G市場や半導体向けパッケージ基板の需要の拡大に伴い、設備投資が増加していることから、製造装置の受注量が増加し、好調を維持している。
	□	輸送業（総務担当）	取引先の様子	・半導体不足による自動車メーカーの生産の停滞で、自動車関連の受注の減少が続いている。
	□	金融業（貸付担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しているが、飲食や観光関連の動きは鈍く、景気は回復していない。
	□	会計事務所（経営者）	受注量や販売量の動き	・企業活動が活発化しつつあり、一時停止あるいは停滞していた間接部門のアウトソーシング業務受託やRPA導入の引き合いが再開している。
	▲	食料品製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・今年に入って、製品価格の値上げを4回実施しているが、それ以上に製造コストが上昇しているため、状況が悪くなっている。

	▲	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・建設資材の価格が軒並み2割程度上昇する案内を目にする。また、鉄骨や鉄筋などの納期も発注から6～8か月の状態となっており、景気は厳しい状態が続いている。
	▲	不動産業（総務担当）	それ以外	・前月と比べ、来客数が約3%、成約件数が約7%の減少となっている。
	×	*	*	*
雇用関連	◎	*	*	*
(中国)	○	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・緊急事態宣言が解除され、前月から徐々に求人や求職が活発になっている。求人側、求職側双方に新型コロナウイルス第6波が発生する前に決めようという意識がみられる。
	○	求人情報誌製作会社（広告担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の急激な減少に伴い、県を越えた人の移動が活発になっている。がらがらだった新幹線もここ1か月は指定席、自由席にかかわらず、人が隣に座る現象が起きている。新卒採用は前年より微増、中途採用は通年採用を検討する企業が増加してきている。
	○	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数は、医療器具製造業で大幅に求人数が伸びた製造業が前年から3割の増加となったため、全体でも2割の増加となっている。
	○	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	周辺企業の様子	・新たに新卒採用を行う企業が出てきている。
	□	人材派遣会社（支社長）	採用者数の動き	・求人数は回復しているが、企業の採用のハードルが依然として高く、採用者数は新型コロナウイルス流行前の7割程度となっている。年末に向け、市場の動きが鈍ってくるため、しばらくは復調の兆しがみえない。
	□	人材派遣会社（経営戦略担当）	周辺企業の様子	・半導体不足が地域企業に影響を与え、景気は良くなっていない。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・業種によって格差はあるものの、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることで、前月と比べると、企業活動や求人活動に積極性が出ている。
	□	職業安定所（事業所担当）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で11.0%減少している。産業別では、製造業、卸売業、小売業が増加しているが、依然として建設業、宿泊業、飲食サービス業は前年より減少しており、大きな改善がみられない状況にある。
	□	職業安定所（雇用関連担当）	求人数の動き	・月間有効求人数は6771件で、前年同月比で8.8%の増加、月間有効求職者数は4004人で、前年同月比で0.3%の増加となっている。求人充足数が前年を下回り、有効求職者数が高止まりのなか、有効求人が大幅に滞留し、人手不足感が続いている。
	□	民間職業紹介機関（職員）	求職者数の動き	・残留を選択肢の1つとし、在職しながら転職活動を行うケースが増加しており、転職するに値する求人がなく、転職を断念するケースが多くなっている。景気が上昇する局面では、条件面を含め、求人側が満足する案件がたくさん浮上してくる傾向があるが、現時点ではそこまでには至っていない。
	□	その他雇用の動向を把握できる者	求人数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いているが、依然として人の動きが良くない。
	▲	—	—	—
	×	—	—	—